

施設の耐震化 83%

防災拠点の調査で（消防庁）

消防庁が12月4日に発表した「防災拠点となる公共施設等の耐震化推進状況調査」の結果で、2015年3月末現在で耐震化済みの福祉施設が83%にとどまることがわかった。

消防庁が防災拠点として指定している福祉施設は2万977か所、このうち耐震化済みは1万7,336か所。公共施設全体（計19万212か所）の耐震化率は88%だったが、福祉施設は平均より5ポイント低い。

また、耐震化の状況は都道府県によって差があり、東京（96%）、神奈川（95%）、愛知（94%）は進んでいるが、広島（61%）、鹿児島（65%）、山口（67%）は遅れている。事業所では81.5%が改定。内容は全事業所が引き上げで、改定額は3,755円（1.8%）増だった。

（福祉新聞・第2743号 2015年12月14日）

お知らせ

第39回日本顔面神経学会

日 程：2016年5月26日（木）・27日（金）

会 場：大阪国際会議場（グランキューブ大阪、大阪府大阪市北区中之島5-3-51）

プログラム：特別講演①「神経再生の最前線」山下俊英先生（大阪大学大学院医学系研究科分子神経科学講座）/特別講演②「Seeing is believing: objective measurements of facial palsy, facial deformity, and facial reanimation surgery」Prof. Lisa E. Ishii (Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Johns Hopkins University School of Medicine) ほか

*「第7回顔面神経麻痺リハビリテーション技術講習会」を本学会と並行し開催します（詳細は<http://jsfnr39.umin.jp/>をご覧ください）。

参加費：医師15,000円、医師以外：10,000円。*第39回日本顔面神経学会、第7回顔面神経麻痺リハビリテーション技術講習会の両方に参加可能です。参加費には会員懇親会費が含まれます。今回は、学会・講習会それぞれ単独の参加費設定

はありません。

演題募集：一般演題を広く募集します。また、下記の指定演題への申し込みを歓迎します。

指定演題：①「忘れ得ぬ顔面神経麻痺症例」、②「顔面神経麻痺の他覚的評価・電気生理学的評価」

演題募集締め切り：2016年2月9日（火）*詳細は、<http://jsfnr39.umin.jp/>をご覧ください。

学会事務局：近畿大学医学部耳鼻咽喉科学講座内（学会担当秘書：三宅敦子）

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2
Tel: 072-366-0221 (内線3225) Fax: 072-368-2252

事務連絡先：第39回日本顔面神経学会運営事務局

株式会社JTBコミュニケーションズ コンベンション事業局内

〒530-0001 大阪市北区梅田3-3-10 梅田ダイビル4階

Tel: 06-6348-1391 Fax: 06-6456-4105

E-mail: jsfnr2016@jtbcom.co.jp